

このコンテンツは公開から3年以上経過しており内容が古い可能性があります 最新情報については<u>サービス別資料</u>もしくはサービスのドキュメントをご確認ください

[AWS Black Belt Online Seminar] Amazon EMR/

サービスカットシリ

Solutions Architect 半場光晴 2019/10/23

AWS 公式 Webinar https://amzn.to/JPWebinar



過去資料 https://amzn.to/JPArchive



自己紹介



□ 名前:
半場 光晴(はんば みつはる)

□ 所属:

アマゾンウェブサービスジャパン 株式会社 技術統括本部 ソリューションアーキテクト

□ 好きな AWS サービス:

AWS サポート、Amazon EMR、 Amazon Elasticsearch Service、 Amazon Kinesis

AWS Black Belt Online Seminar とは

「サービス別」「ソリューション別」「業種別」のそれぞれのテーマに分かれて、アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社が主催するオンラインセミナーシリーズです。

質問を投げることができます!

- 書き込んだ質問は、主催者にしか見えません
- 今後のロードマップに関するご質問は お答えできませんのでご了承下さい

- ① 吹き出しをクリック
- ② 質問を入力
- ③ Sendをクリック





Twitter ハッシュタグは以下をご利用ください #awsblackbelt



内容についての注意点

- 本資料では2019年10月22日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト (http://aws.amazon.com) にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格と AWS 公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS 公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっています。日本居住者のお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at http://aws.amazon.com/agreement/. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.



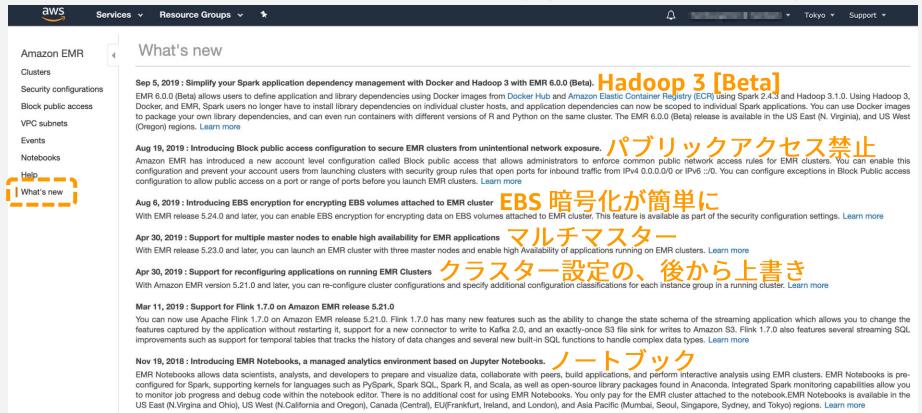
本日のアジェンダ

- Why Amazon EMR
- What is Amazon EMR
- How to Amazon EMR
- ☐ Amazon EMR and Friends
- □まとめ



What's New in Amazon EMR

https://aws.amazon.com/blogs/big-data/run-spark-applications-with-docker-using-amazon-emr-6-0-0-beta/





本日のアジェンダ

- Why Amazon EMR
- What is Amazon EMR
- ☐ How to Amazon EMR
- ☐ Amazon EMR and Friends
- □まとめ



データを差別化要因にするために、求められること

Dashboards Real-time Predictive Voice **Image** Recognition

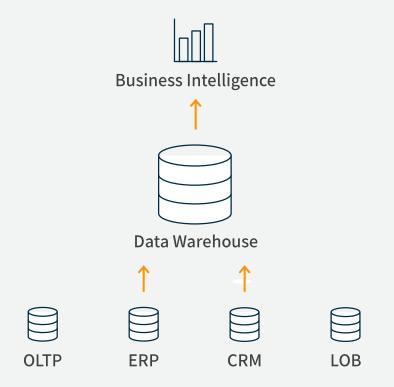
新たなデータのタイプ

新たな分析のタイプ

- 新たな非リレーショナルデータをPB-EBスケールでリアルタイムにキャプチャして保存する
- バッチレポートにとどまらず、リアルタイム、予測、音声、画像認識を組み込む新しいタイプの分析をする必要がある
- 安全かつ管理された方法でデータへのアクセスを民主化する



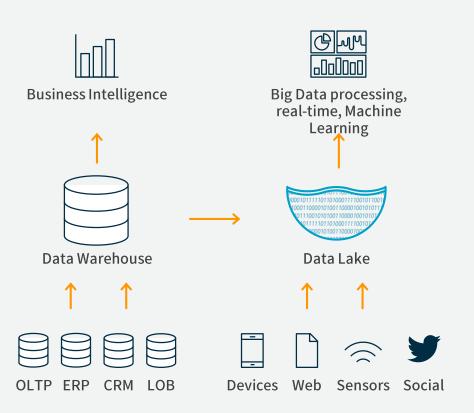
従来までの分析アプローチによくある姿



- ・ リレーショナルデータ
- TBs-PBs スケール
- データロード前のスキーマ定義
- 運用レポート作成とアドホック操作
- 大きな初期設備投資額に加え、TBあたり年間およそ10万-50万ドルのランニングコスト



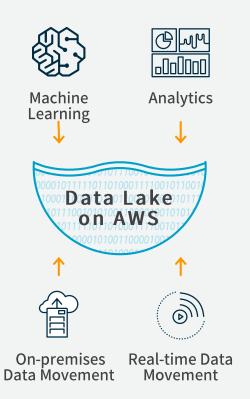
従来のアプローチを拡張するデータレイク



- リレーショナルデータに加えて、非リレーショナルデータ
- TBs-EBs スケール
- ・ 多様な分析エンジン
- ・ 低コストのストレージと分析



データレイクと AWS の分析系サービス





オープンかつ包括的



安全



拡張性と耐久性



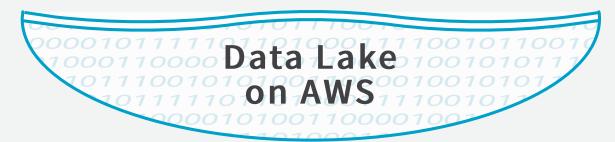
経済性



Apache Hadoop とデータレイク



YARN (Hadoop Operating System)



• 分散処理

NoSQL

- ・ 多様な分析
 - Batch/Script (Hive/Pig)
 - Interactive (Spark, Presto)
 - Real-time (Spark)
 - Machine Learning (Spark)
 - NoSQL (HBase)
- 幅広いユースケース
 - Log and clickstream analysis
 - Machine Learning
 - Real-time analytics
 - Large-scale analytics
 - Genomics
 - ETL



Amazon EMR

大幅なコスト節減を可能にする、クラウドを利用したマネージドな Hadoop と Spark



高い品質



簡単



低コスト



Amazon EMR

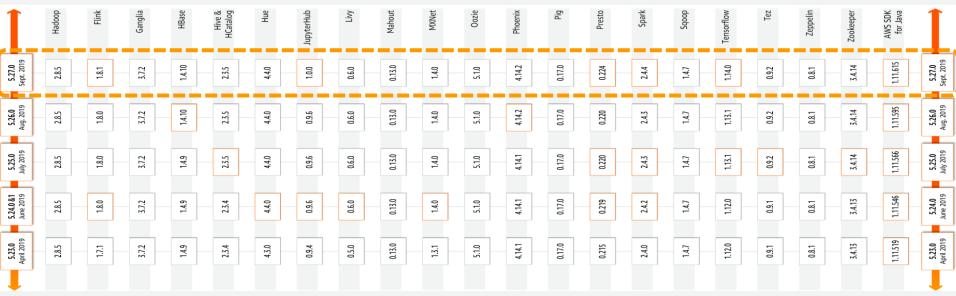
大幅なコスト節減を可能にする、クラウドを利用したマネージドな Hadoop と Spark





高い品質の Hadoop と Spark

最新の Hadoop および Spark エコシステムのリリースをデプロイ

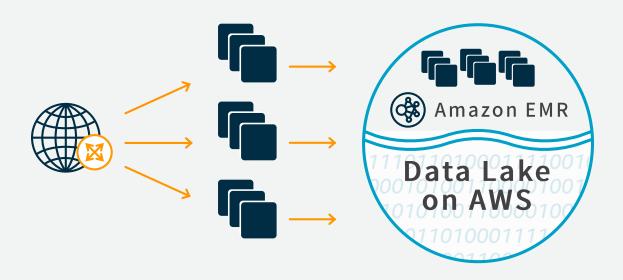


- 20 のオープンソースプロジェクト: Apache Hadoop, Spark, HBase, Presto など
- リリースからおよそ30日以内に、最新のオープンソース フレームワークへ更新を継続



高い品質の Hadoop と Spark

任意のサイズに拡張可能



- コンピューティング(EMR)と ストレージ(S3)を個別にス ケーリング
- PBからEBまで、あらゆる量の データを保存、そして、処理
- 1、100、はたまた数千ノードの クラスターをプロビジョニング
- ・ オートスケーリング



高い品質の Hadoop と Spark

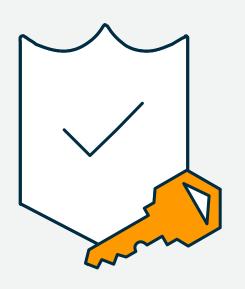
高い可用性と耐久性



- S3 は、99.9999999%の耐久性を提供するように設計 されている
- EMR は、クラスターを監視し、パフォーマンスの低い ノードと障害が発生したノードを置き換え、サービス を再起動する
- Amazon CloudWatch を使用してクラスターを監視する
- EMRには、ジョブ履歴を表示してログを閲覧できる組み込みコンソールがある
- EMR は、データ永続性のために、(S3利用に加えて) クラスター内に HDFS も備えている



高い品質の Hadoop と Spark 高い安全性



- 保存時および転送中のデータの暗号化
- Amazon Macie によるMLによるセキュリティ
- Amazon VPC を使用したネットワーク分離
- ・ IAM ポリシーによるアクセスと権限の制御
- AWS CloudTrail を使用したアクティビティの記録と監査
- Kerberos サポートによるマイクロソフト AD との統合



Amazon EMR

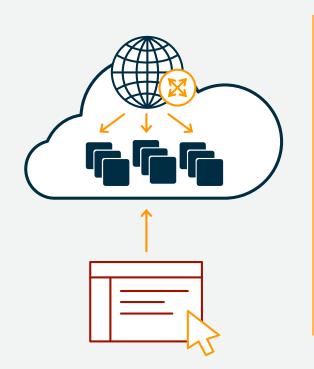
大幅なコスト節減を可能にする、クラウドを利用したマネージドな Hadoop と Spark





簡単

わずか数分でクラスターの起動・利用開始

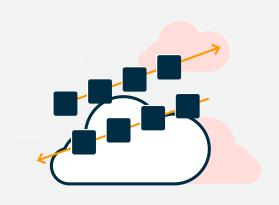


- Hadoop/Sparkクラスターを数分で起動
- Hadoopのインストールやメンテナンス不要
- ・ クラスタのチューニングと構成を自動実行
- リリースからおよそ30日以内に最新のHadoopバージョンを利用可能



簡単

自動、そして、伸縮自在の、スケーリング



- スケーリングポリシーに基づいてクラスタを自動的に拡張
- 処理完了時にクラスタをシャットダウン可能
- 一時的なクラスターと長時間稼働クラスターの 両方に最適化
- ・ 手動による介入は不要



Amazon EMR

大幅なコスト節減を可能にする、クラウドを利用したマネージドな Hadoop と Spark





低コスト リザーブドインスタンスとスポットの活用による、75-90%のコスト節約

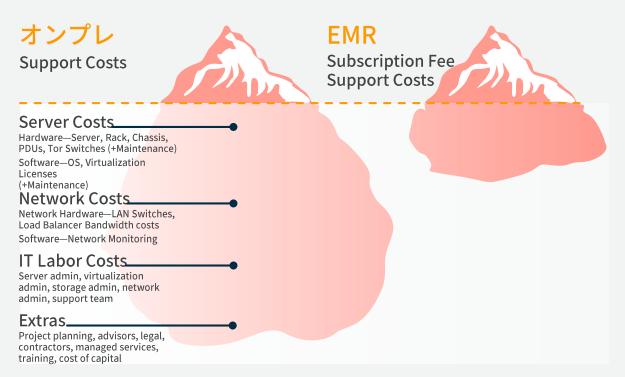




- ・ リザーブドインスタンスで最大 75% の節約
- スポットで最大 90% 節約
 - ・ オンデマンド料金のほんの一部の支払い
 - 入札価格が市場価格を超えた場合にリソース を取得
 - スポットとオンデマンドの組み合わせでインスタンスタイプのリストからプロビジョニング
 - 容量/価格に基づいて最適な AZ で起動
 - ・ スポットブロックのサポート



低コスト 低い TCO (Total Cost of Ownership)



- Hadoop クラスターの管理 とサポートにかかる管理時 間の短縮
- 前払いコストなし:ハード ウェアの取得、設置
- オペレーションコストの節約:データ・センターのスペース、電力、冷却
- ビジネス価値:遅延コスト、 リスクプレミアム、競争力、 ガバナンスなど



多くの Hadoop および Spark プロジェクトを支えている EMR





























































1 UberMedia









CROWDSTRIKE



























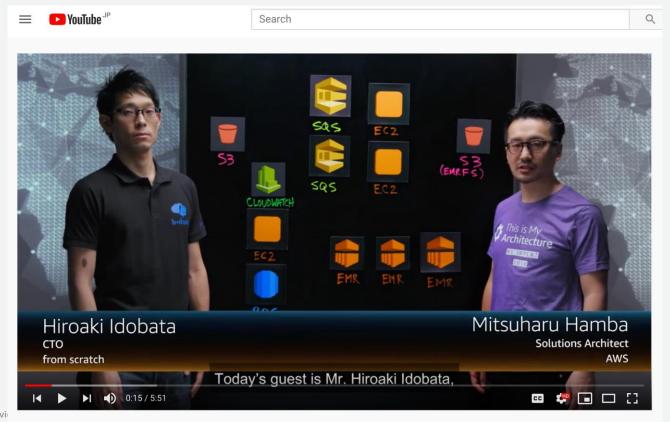




Amazon EMR な This is My Architecture

https://youtu.be/nM-AkqNh7Yo

from scratch: Resource Manager Controls Task Distribution with Multiple Amazon EMR Clusters



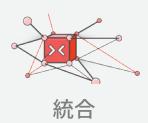


Why Amazon EMR?







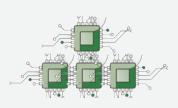




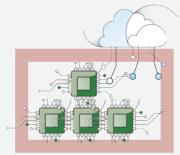




Why Amazon EMR?: 自動化







クラスターのセットアップ



Hadoop の設定



監視と 失敗のハンドリング



ジョブの送信



アプリケーションの インストール





Why Amazon EMR?









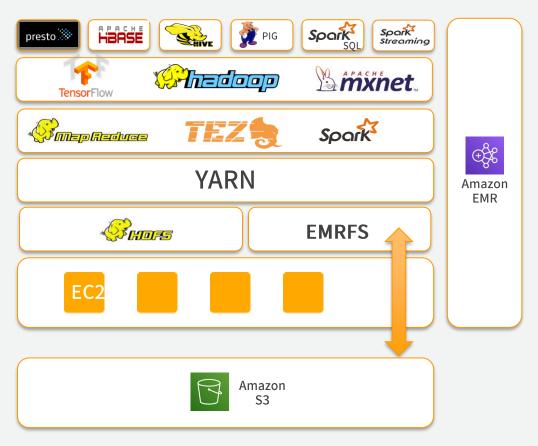






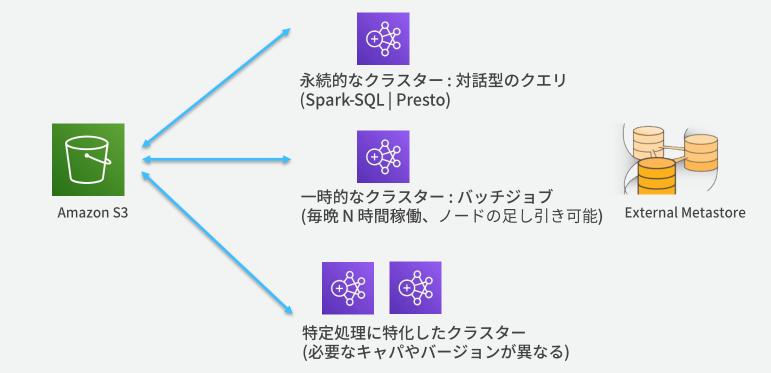
Why Amazon EMR?: コンピューティングとストレージの

分離





Why Amazon EMR?: コンピューティングとストレージの分離





Why Amazon EMR?







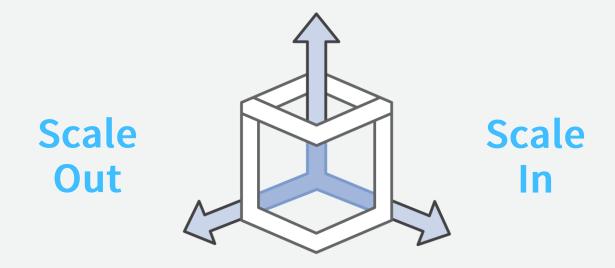








Why Amazon EMR? 弹力性

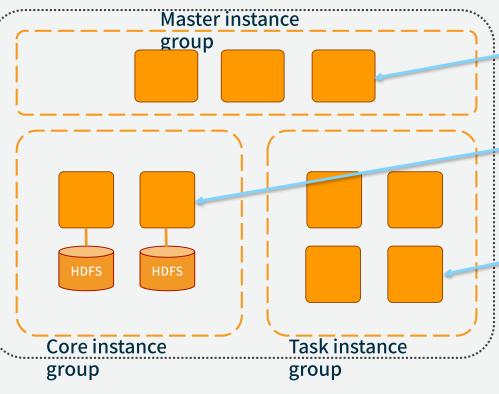


Auto Scale



EMR ノードの弾力性

EMR cluster



マスターノードは稼働し 続けねばならない

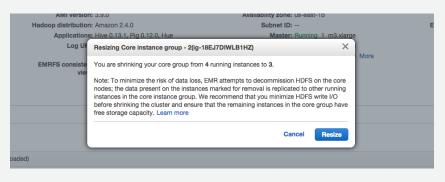
コアノードは Graceful に 追加および削除が可能

タスクノードのロストは、 クラスターに対する問題 なし

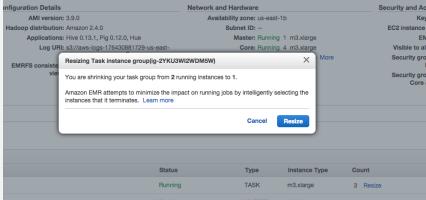


配慮されたスケールイン: Core ノードと Task ノード

Core



Task





Why Amazon EMR?







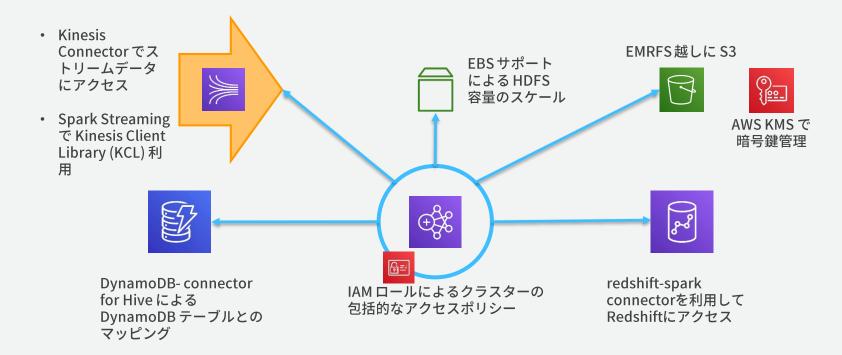








Why Amazon EMR?: AWS サービスとの統合





Why Amazon EMR?









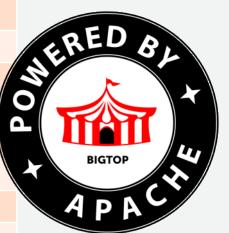






Why Amazon EMR?: 継続的な更新

Application	Open source release	EMR release		
Spark 2.4.4	Sep 01, 2019	Sep 23, 2019		
Spark 2.4.3	May 08, 2019	July 17, 2019		
Spark 2.4.2	April 23, 2019	June 26, 2019		
Spark 2.4.0	November 2, 2018	December 18, 2018		
•••				
Spark 2.3.0	February 28, 2018	April 10, 2018		
Spark 2.2.0	July 11, 2017	August 10, 2017		
Spark 2.1.0	December 28, 2016	January 26, 2017		
Spark 2.0	July 26, 2016	August 2, 2016		
•••				





Why Amazon EMR?







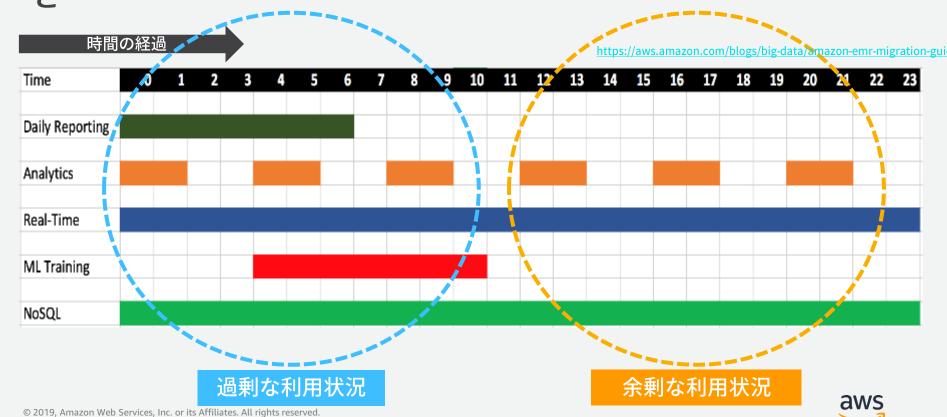








例えば、 オンプレでのジョブの実行状況をプールのレーンのように並べてみる と



Why Amazon EMR?: 低コスト



一時的なクラスター



リザーブド インスタンス



スポット と インスタンスフリート

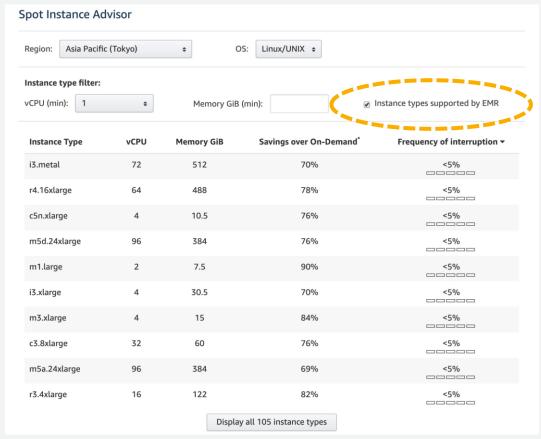


スポットのマーケット特性について、おさらい



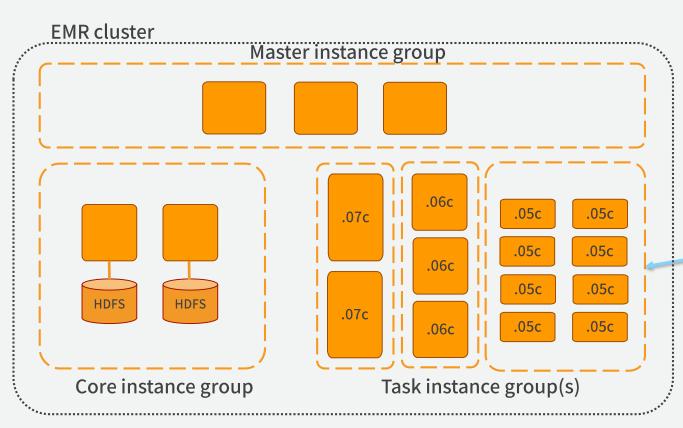


Spot Instance Advisor の活用





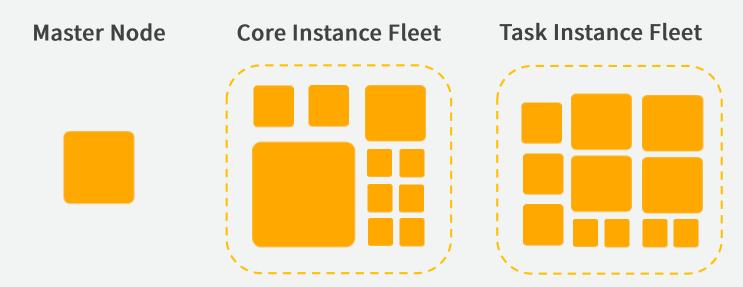
複数の Task グループ割り当て



グループ毎に、異なる インスタンスタイプや スポット入札額を指定 できる



インスタンスフリートを利用したスポットのさらなる活用



- 指定したインスタンスタイプのリストから、スポットとオンデマンドをプロビジョニング
- 容量/価格に基づいて最適なアベイラビリティゾーンで起動
- スポットブロックのサポート



本日のアジェンダ

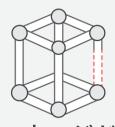
- Why Amazon EMR
- What is Amazon EMR
- ☐ How to Amazon EMR
- ☐ Amazon EMR and Friends
- □まとめ



What is Amazon EMR



簡単 わずか数分でクラスターを起動



マネージド監視に費やす労力を節減



低コスト
砂単位の課金



安全 簡単にオプション設定可能



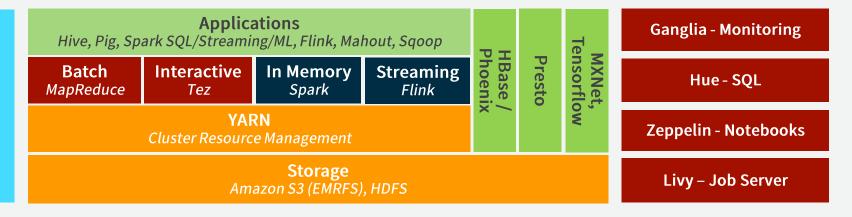


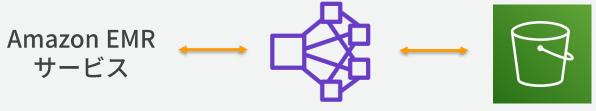
米 野 自在なカスタムと制御



オープンソースのアプリケーションたち

Connectors to AWS services







ジョブ送信の選択肢

Spark アプリケーション の送信

AWS Lambda で、EMR Step APIをコール、または、クラ スター内の Spark を直接 コールして、アプリケー ションを送信する

ジョブ送信のスケジューリングや、複雑なワークフローを定義するために、パイプラインを構成する





Airflow、Luigi、Digdag、その 他任意のスケジューラー on EC2

AWS Lambda



Amazon EMR

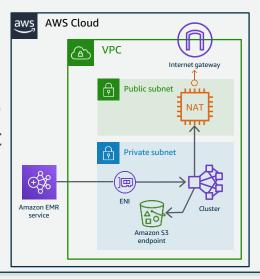
. - - - - - -

クラスター内の Oozie を利用し てジョブの DAG を構成



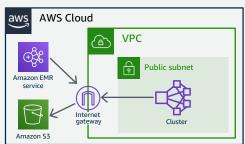
ネットワーク: VPC オプション

Private Subnet 配置



- S3 への接続に Amazon S3 エンドポイントを使用する
- 他のサービスまたはインターネットへの接続に、マネージド NAT を使用する
- セキュリティグループを使用してトラフィックを制 御する
 - ElasticMapReduce-Master-Private
 - ElasticMapReduce-Slave-Private
 - ElasticMapReduce-ServiceAccess

Public Subnet 配置



 Block Public Access を有効にすると、すべてのパブ リックアドレスからのインバウンドトラフィックを 許可するルールがクラスターのセキュリティグルー プにある場合、EMR クラスターの起動を防止する



アクセス制御: IAM Users and Roles

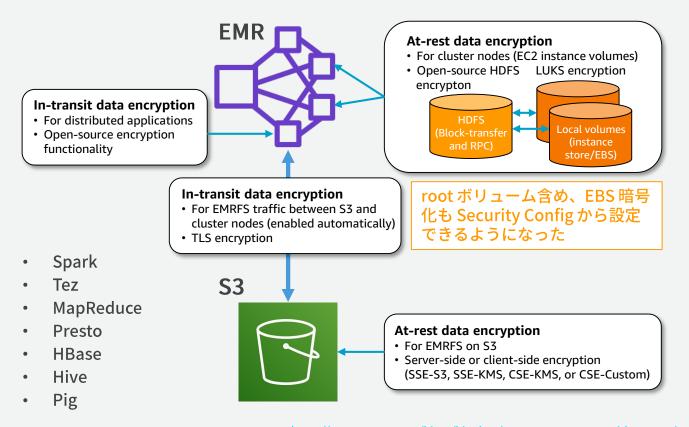
- Amazon EMR サービスにアクセスするための IAM ポリシー (IAM ユーザーや Federated ユーザー向け)
 - AmazonElasticMapReduceFullAccess
 - AmazonElasticMapReduceReadOnlyAccess
- Amazon EMR クラスターのための IAM ポリシー
 - サービスロール (AmazonElasticMapReduceRole): EC2 インスタンスの作成など関連する AWS サービスにアクセスしてクラスターをプロビジョニングする、Amazon EMR サービスに許可されるアクション
 - インスタンスプロファイル (Amazon Elastic Map Reduce for EC2 Role): クラスターからの EMRFS 越しの Amazon S3 へのアクセスなど、Amazon EMR で実行されるアプリケーションに許可されるアクション
 - オートスケーリングロール (AmazonElasticMapReduceforAutoScalingRole): クラスターのオート スケーリングがトリガーされた際に EC2 インスタンスの起動や終了を実施 する、Amazon EMR サービスに許可されるアクション

容易な End-to-End のセキュリテイ設定

- 保管中のデータの暗号化
 - すべての Amazon S3 暗号化機能をサポート
 - ローカルディスクと HDFS 暗号化を設定可能
- 転送中のデータの暗号化
 - VPC プライベートサブネットでの EMR クラスター実行
 - Hadoop、MapReduce、Spark 用の暗号化されたノード間通信
 - SSL を介した他のサービスへのデータ転送
- AWS IAM との統合
 - IAM ロール、バケットポリシーと ACL、タグベースのアクセス許可のサポート
- ネイティブな Hadoop エコシステム機能による認証認可
- コンプライアンスおよび監査
 - SOC 1/2/3、PCI-DSS、FedRAMP、HIPAA、などに適合
 - CloudTrail で、すべての API 呼び出しをログに記録
 - S3 データのオブジェクトアクセスロギング

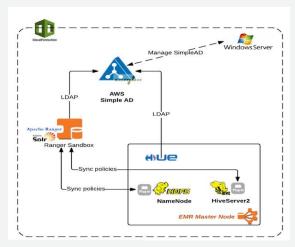


セキュリティ:暗号化





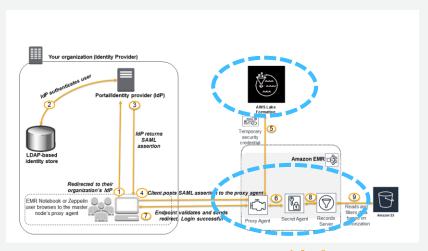
セキュリティ: 認証と認可



Apache

Ranger HBase、YARN、およびHDFS用のプラグイン

- ・ Hive の行レベルの認証
 - データマスキングを使用
- 組み込み検索による充実の監査機能
- エッジノードで Ranger を実行する



AWS Lake Formation との統合 [Beta]

- ・ Spark、Zeppelin、EMR ノートブックをサポート
- AD FS などの既存の SAML ベースの IdPを使用した、企業で すでに利用されている ID による管理
- AWS Glue データカタログをメタデータストアとして使用
- EMR ノートブックまたは Apache Zeppelin を使用して、 AWS Glue とLake Formation によって管理されるデータに アクセス
- Lake Formation のアクセス許可に従い、AWS Glue データ カタログのデータベース、テーブル、列にアクセス**AWS**

© 2019, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

https://aws.amazon.com/blogs/big-data/implementing-authorization-and-auditing-using-apache-ranger-on-amazon-emr

Kerberos による認証





EMRFS きめ細かな (fine-grained) 認可

例

User: aduser

Group: analyst

IAM role: analytics_prod

例

User: aduser2

Group: dev

IAM role: analytics_dev





<u>IAM ロールを、</u> <u>ユーザー、グループ、または S3 プレフィックスにマッピング可能</u>

https://aws.amazon.com/blogs/big-data/securely-analyze-data-from-another-aws-account-with-emrfs/



セキュリティ:統制と監査

- EMR API には AWS CloudTrail
- EMR クラスターからの S3 アクセスには S3 アクセスログ
- YARN とアプリケーションのログ
 - EMR の ロギング、デバッグ、アプリケーション履歴を活用
- Apache Rangerをアプリケーションレベルの監査用 UIに利用

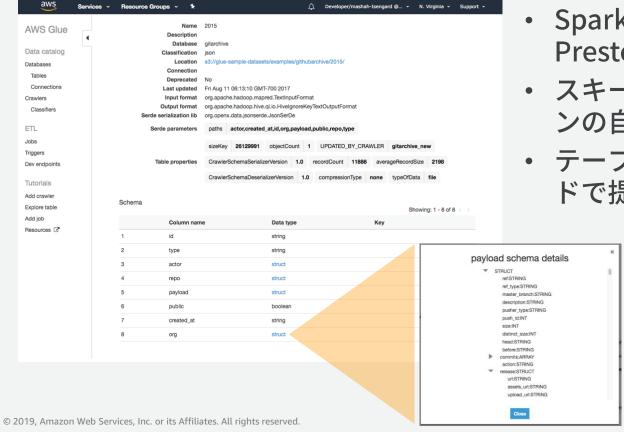


監視

- Amazon S3
 - バケットアクセスログ
 - CloudTrail データイベント
 - CloudWatch メトリックス
- Amazon EMR
 - さまざまなログファイルを5分間隔でAmazon S3 にアーカイブする
 - ロギング、デバッグ、アプリケーション履歴の活用
 - ログファイルは、クラスタの終了後も利用可能
- CloudWatch メトリックス
 - クラスター、ノード、YARN、ストレージ(S3と HDFS)、メモリー、HBase
 - 5分ごとに更新
- Ganglia



AWS Glue データカタログを共通のメタデータストアとして適用可能



- Spark、Hive、および Prestoをサポート
- スキーマとパーティションの自動生成
- テーブル更新をマネージ ドで提供



本日のアジェンダ

- Why Amazon EMR
- What is Amazon EMR
- ☐ How to Amazon EMR
- ☐ Amazon EMR and Friends
- □まとめ



EMR クラスター作成手段の選択肢



AWS マネージメント コンソール



AWS CLI

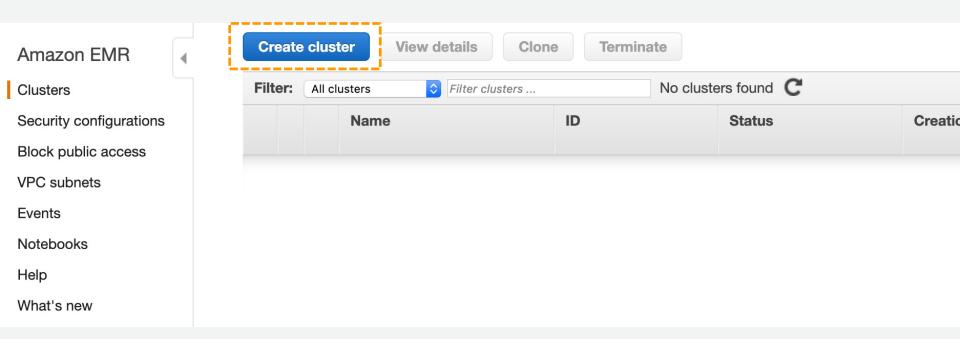


AWS SDKs

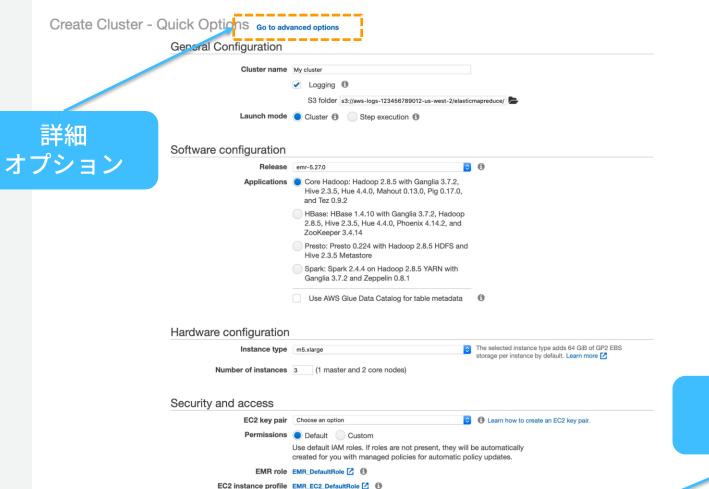


Compute EC2 Lightsail C* ECR ECS EKS Lambda Batch Elastic Beanstalk Serverless Application Repository	Robotics AWS RoboMaker Blockchain Amazon Managed Blockchain Satellite Ground Station	Analytics Athena EMR CloudSearch Elasticsearch Service Kinesis QuickSight 🗗 Data Pipeline AWS Glue MSK		Business Applications Alexa for Business Amazon Chime (2) WorkMail End User Computing WorkSpaces AppStream 2.0 WorkDocs WorkLink
Storage S3 EFS FSx S3 Glacier Storage Gateway AWS Backup	Management & Governance AWS Organizations CloudWatch AWS Auto Scaling CloudFormation CloudTrail Config OpsWorks Service Catalog Systems Manager	Security, Identity, & Compliance IAM Resource Access Manager Cognito Secrets Manager GuardDuty Inspector Amazon Macie AWS Single Sign-On	\Phi	Internet Of Things IoT Core Amazon FreeRTOS IoT 1-Click IoT Analytics IoT Device Defender IoT Device Management IoT Events IoT Greengrass
RDS DynamoDB	Trusted Advisor Managed Services	Certificate Manager Key Management Service CloudHSM		IoT SiteWise IoT Things Graph

クラスターの作成:マネージメントコンソール







クイックに 作成

Create cluster



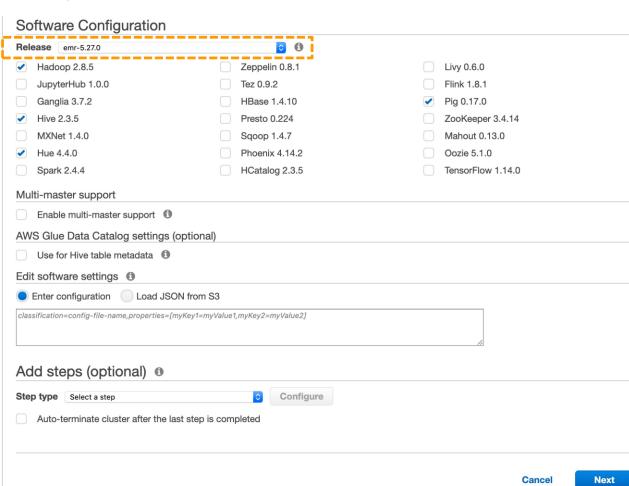
Create Cluster - Advanced Options Go to quick options

Step 1: Software and Steps

Step 2: Hardware

Step 3: General Cluster Settings

Step 4: Security



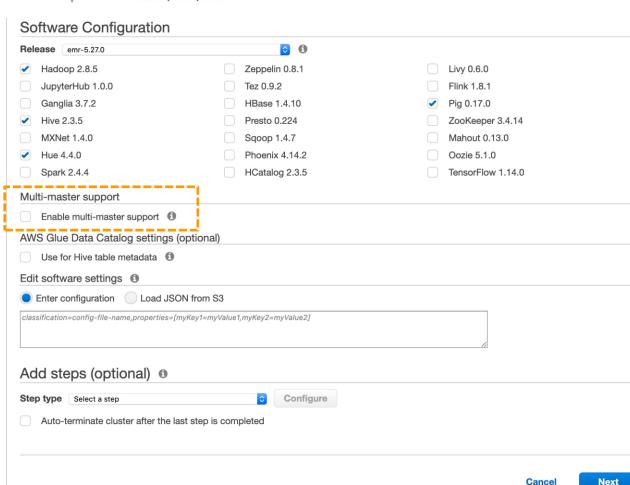
Create Cluster - Advanced Options Go to quick options

Step 1: Software and Steps

Step 2: Hardware

Step 3: General Cluster Settings

Step 4: Security



EMR マルチマスター

- EMR マルチマスターを選択すると、3 つのマスターノードを持つクラスターが作成される
- マルチマスター機能により、HBase、YARN リソースマネージャー、HDFS ネームノード、Spark、Hive、および Ganglia の高可用性をサポートする
- マルチマスター機能により、プライマリマスターノードに障害が発生した場合、Amazon EMR は自動的にスタンバイマスターノードにフェイルオーバーする



Create Cluster - Advanced Options Go to quick options

Software Configuration Step 1: Software and Steps Release emr-5.27.0 0 Step 2: Hardware ✓ Hadoop 2.8.5 Zeppelin 0.8.1 Livy 0.6.0 Step 3: General Cluster Settings JupyterHub 1.0.0 Tez 0.9.2 Flink 1.8.1 Step 4: Security Ganglia 3.7.2 ✓ Pig 0.17.0 HBase 1.4.10 ✓ Hive 2.3.5 ✔ Presto 0.224 ZooKeeper 3.4.14 MXNet 1.4.0 Sqoop 1.4.7 Mahout 0.13.0 ✔ Hue 4.4.0 Phoenix 4.14.2 Oozie 5.1.0 Spark 2.4.4 HCatalog 2.3.5 TensorFlow 1.14.0 Multi-master support Enable multi-master support 1 AWS Glue Data Catalog settings (optional) Use for Hive table metadata 1 Use for Presto table metadata ① Use for Spark table metadata (1) Edit software settings (1) Enter configuration Load JSON from S3 classification=config-file-name,properties=[myKey1=myValue1,myKey2=myValue2] Add steps (optional) 1 Step type | Select a step Configure Auto-terminate cluster after the last step is completed

Cancel

Next

Glue データカタログの設定

- Glue データカタログを Hive、Spark、および Presto でサポートされている外部メタストアとして指定できる
- 永続的なメタストア、または、異なるクラスター、サービス、アプリケーション、さらに、AWS アカウント、によって共有されるメタストアが必要な場合に、非常に便利なオプション



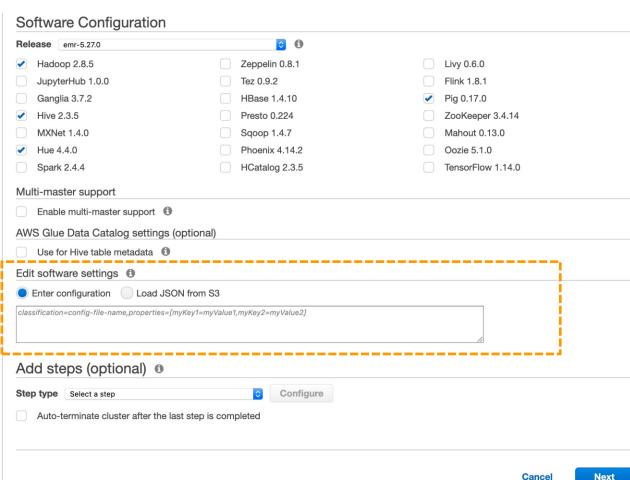
Create Cluster - Advanced Options Go to quick options

Step 1: Software and Steps

Step 2: Hardware

Step 3: General Cluster Settings

Step 4: Security



ソフトウェア設定の編集

- Hadoop アプリケーションのデフォルト設定を上書きできる
- S3 に配置したオブジェクトから、またはインラインの JSON ファイル
- キャパシティスケジューラー、core-site、hadoop-env、hadoop-log4j、hdfs、httpfs-env、https-site、maapred-env、pred-site、yarn-env、yarn-site、hive-eec-log4j、hive-log4j、hive-site、pig-properties、pig-log4j、などなど
- さらに、クラスター作成後も、ソフトウェア設定を再構成し、実行中のクラスター内の各インスタンスグループに設定を追加・更新できるようになった

aws

Create Cluster - Advanced Options Go to quick options

Step 1: Software and Steps

Step 2: Hardware

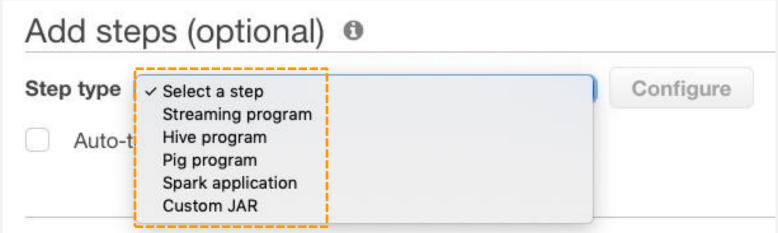
Step 3: General Cluster Settings

Step 4: Security

Release emr-5.27.0	○ ①	
✓ Hadoop 2.8.5	Zeppelin 0.8.1	Livy 0.6.0
JupyterHub 1.0.0	Tez 0.9.2	Flink 1.8.1
Ganglia 3.7.2	HBase 1.4.10	✓ Pig 0.17.0
✓ Hive 2.3.5	Presto 0.224	ZooKeeper 3.4.14
MXNet 1.4.0	Sqoop 1.4.7	Mahout 0.13.0
✓ Hue 4.4.0	Phoenix 4.14.2	Oozie 5.1.0
Spark 2.4.4	HCatalog 2.3.5	TensorFlow 1.14.0
Multi-master support		
Enable multi-master support)	
AWS Glue Data Catalog settings	s (optional)	
Use for Hive table metadata		
Edit software settings ①		
Enter configuration Load J	SON from S3	
classification=config-file-name,properties	r[myKey1=myValue1,myKey2=myValue2]	
Add steps (optional) 🙃		
Step type Select a step	○ Configure	
Auto-terminate cluster after the	last step is completed	

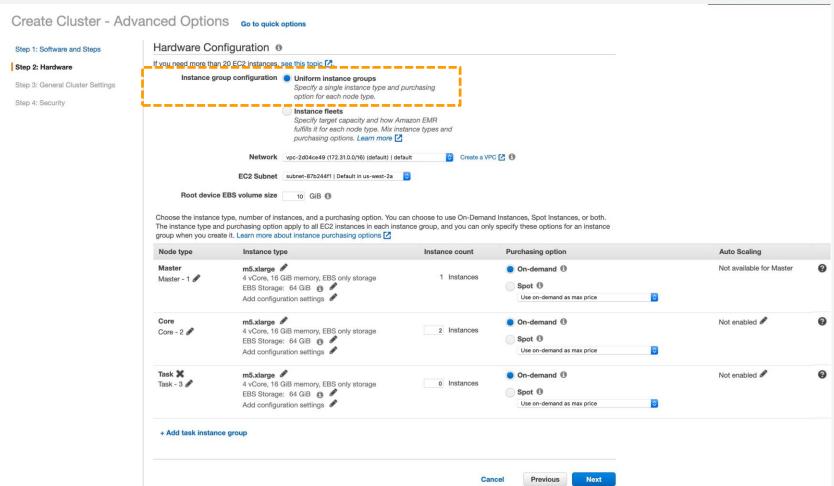
ステップの追加

- ステップは、クラスターに送信するジョブの単位
- 直列に実行される
- 完了時にクラスタを自動終了するように選択も可能
- ストリーミング、Hive、Pig、Spark、およびカスタム JAR の事前設定オ プションがある

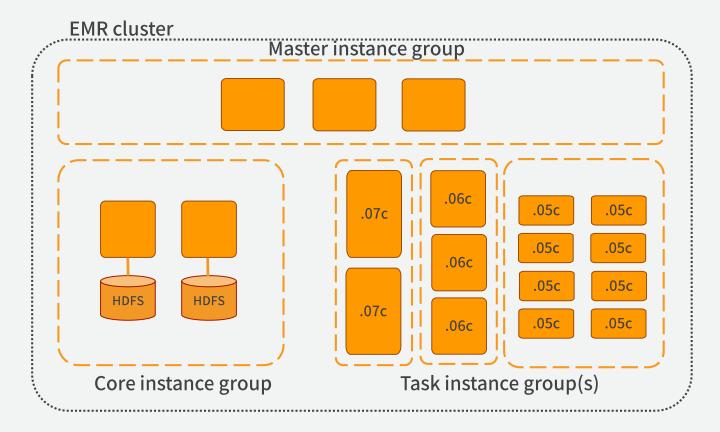




ハードウェアの設定

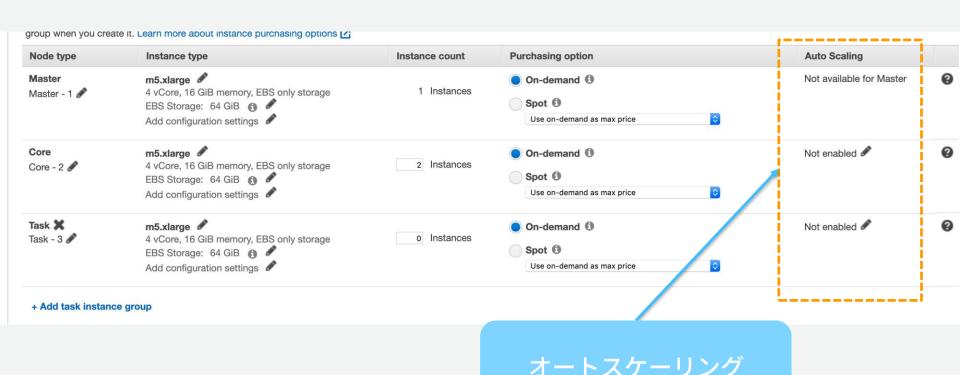


ハードウェアの設定: 複数の Task グループ

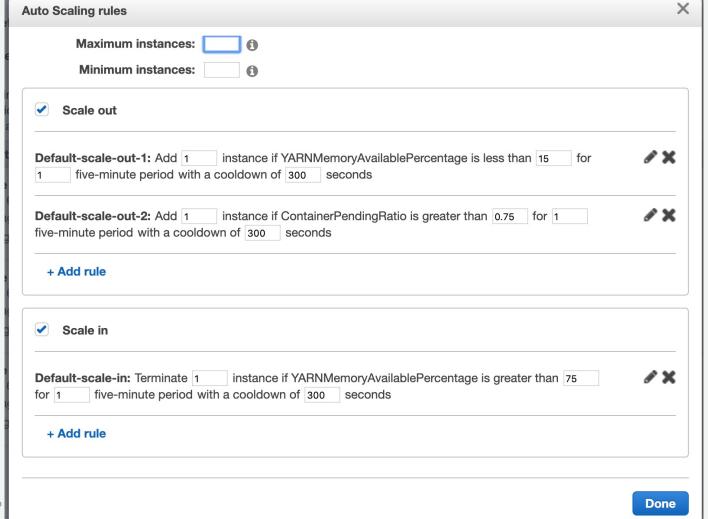




ハードウェア設定:オートスケーリング

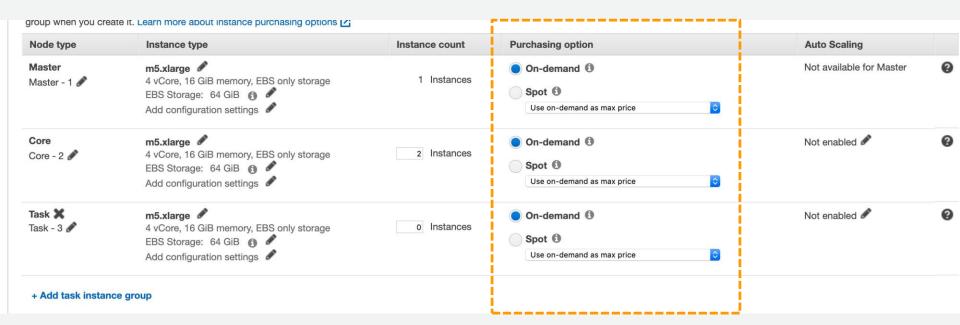






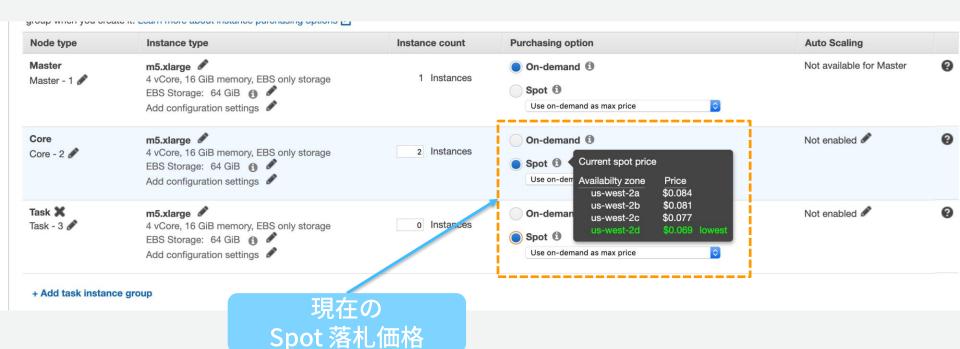


ハードウェア設定:スポットインスタンスの利用





ハードウェア設定:スポットインスタンスの利用





インスタンスフリート:もうひとつのハードウェア設定方法

- スポットとオンデマンドを組み合わせて、指定したインスタンスタイプの リストからプロビジョニングする
- 容量/価格に基づいて、最適なアベイラビリティーゾーンで起動する
- スポットブロックもサポート

Instance group configuration

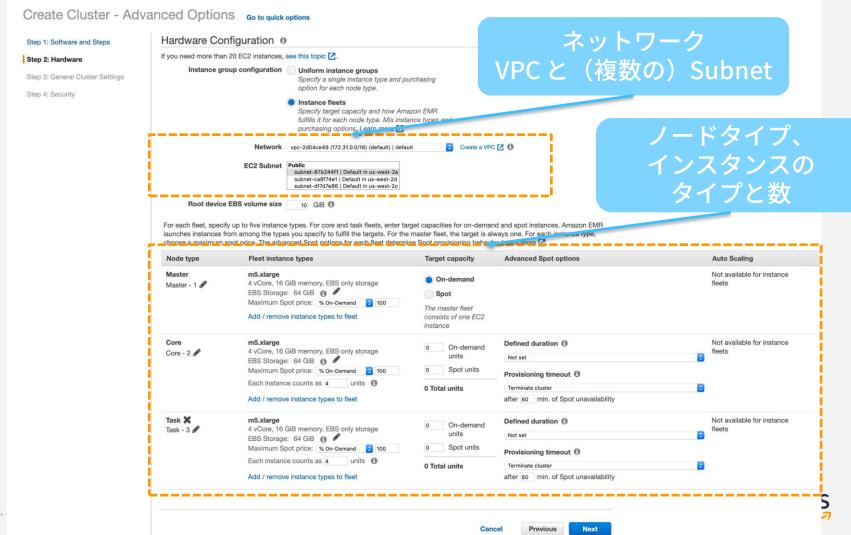


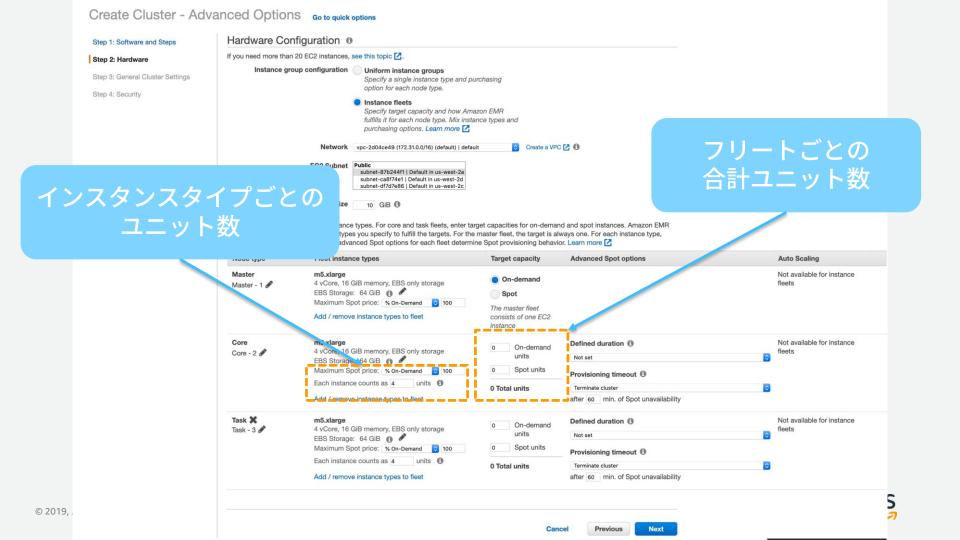
Specify a single instance type and purchasing option for each node type.

Instance fleets

Specify target capacity and how Amazon EMR fulfills it for each node type. Mix instance types and purchasing options. Learn more







General Options and Tags





全般的なオプション:ロギング

- デフォルトで、マスターノードに書き込まれるログ:/mnt/var/log
 - ・ ステップのログ
 - Hadoop および YARN コンポーネントのログ
 - ブートストラップアクションのログ
 - インスタンス状態のログ
- ロギングがオンになっている場合、ログは S3 にも書き込まれる
 - ・ 5分間隔で書き込む
 - コンソールではデフォルトで ON
 - CLI ではデフォルトで OFF

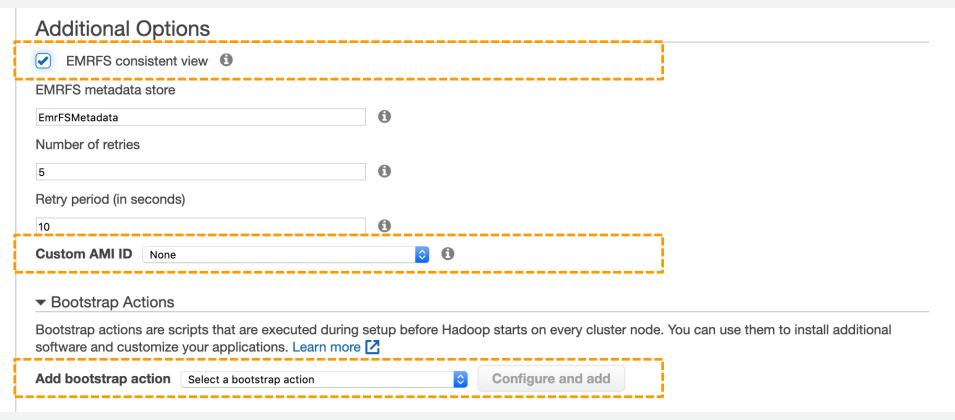


全般的なオプション:デバッグ

- クラスターでデバッグを有効にすると、Amazon EMR はログファイルを Amazon S3 にアーカイブするのに加えて、それらのファイルのインデックスを作成する
- 有効にした後、コンソールを使用して、クラスターのステップ、 ジョブ、タスク、およびタスク試行ログを参照できる
- デバッグ用のログも、5分間隔でS3にプッシュされる



全般的なオプション: 追加オプション





追加オプション: EMRFS Consistent View

- S3 は結果整合性を持つ、そこで、EMRFS Consistent View
 - DynamoDB をファイルレジストリとして使用する
 - EMRFS によって書き込まれた、または EMRFS と同期された Amazon S3 オブジェクトについて、EMR クラスターがリストと書き込み後の読み取りの一貫性をチェックできるようにする
- 以下の項目を調整できる
 - 矛盾を検出した後、EMFRS が S3 を呼び出す回数
 - 最初の再試行までの時間間隔
 - その後の再試行では、指数(Exponential)バックオフが使用される



追加オプション:カスタム AMI

- ・メリット
 - ブートストラップアクションを使用する代わりに、アプリケーションをプリインストールするなどカスタマイズを事前に行うことで、クラスタの開始時間を短縮できる
 - 予期しないブートストラップアクションでのエラーを防止する
 - Amazon EBS ルートボリューム暗号化のサポート
 - root ボリューム含め、EBS の暗号化も Security Configuration から設定できるようになった
- 必須要件
 - アマゾン Linux AMI である(Amazon Linux 2 AMI はサポートされていない)
 - HVM および EBS-Backedの AMI である
 - 64 ビット AMI である
 - アプリケーションと同じ名前のユーザーを持つことはできない(例:hadoop、hdfs、yarn、sparkなど)

https://aws.amazon.com/blogs/big-data/create-custom-amis-and-push-updates-to-a-running-amazon-emr-cluster-using-amazon-ec2-systems-manager/

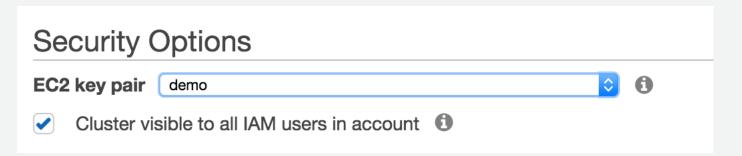


追加オプション:ブートストラップアクション

- Hadoop が各ノードで開始する前に実行されるスクリプト
- 通常、追加のソフトウェアのインストールに使用
- ・ 最大16のブートストラップアクションを実行可能
- ・ 条件指定で実行
 - instance.json または job-flow.json に定義されたインスタンス固有の値に対する条件
 - 例:IsMaster=true
- 柔軟なカスタム
 - 任意のカスタムスクリプトを実行する
 - 例:S3から各ノードにファイルをコピーする



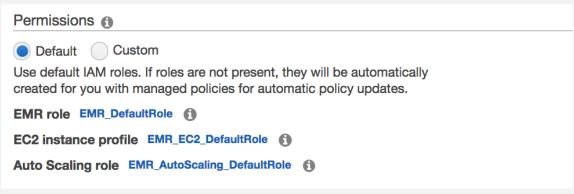
セキュリティオプション - EC2 キーペアと可視性



- EC2 キーペア
 - マスターノードに SSH 接続できるようするには、キーペアをアタッチ する必要がある
- クラスタ表示
 - OFF にすると、クラスター作成者(と root ユーザー)のみが、CLI と コンソールでクラスタを表示できるようになる



セキュリティオプション:権限



- EMR はロールを使用して AWS リソースにアクセスする
 - EMR ロール
 - EMR が EC2 などのリソースにアクセスできるようにする
 - EC2 インスタンスプロファイル
 - クラスター内の EC2 インスタンスが S3 などのリソースにアクセスすることを許可する
 - オートスケーリングロール
 - オートスケーリングによるインスタンスの追加と終了を許可する
- デフォルトのロールを使用するか、独自のロールを選択する



セキュリティオプション:暗号化とセキュリティグループ

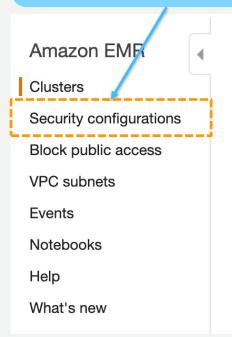
▼ Encryption C	ptions			
Security	configuration Dev Config		†	
▼ EC2 Security	Groups			
you can configure	•	ups and additional securit		traffic. There are two types of security groups ally update the rules in the EMR managed
Туре	EMR managed security EMR will automatically update to	• .	Additional security gro	•
Master	Default: sg-f712b29a (Elastic	MapReduce-master)	No security groups select	ited 🖍
Core & Task	Default: sq-f112b29c (Elastic	MapReduce-slave)	No security arouns select	eted P

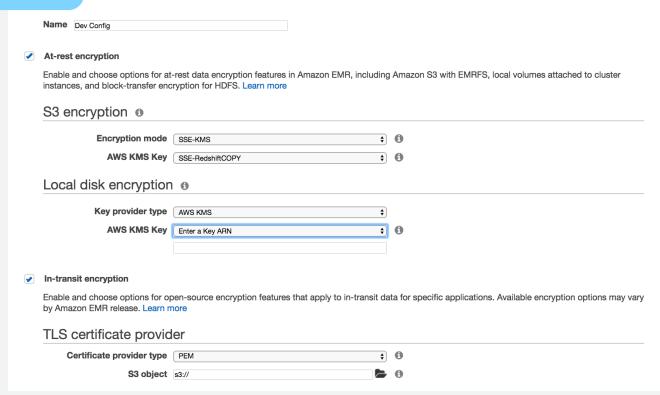


Create a security group

クラスター作成の前に 作成しておく必要がある

security configuration







Authentication



Enable Kerberos authentication for interactions between certain application components on your cluster using Kerberos principals. You can choose between having EMR install a KDC server on the master node of the cluster or you can share your own KDC details that EMR cluster can use. Learn more



内部か、外部か、 KDC の配置を指定する

IAM roles for EMRFS

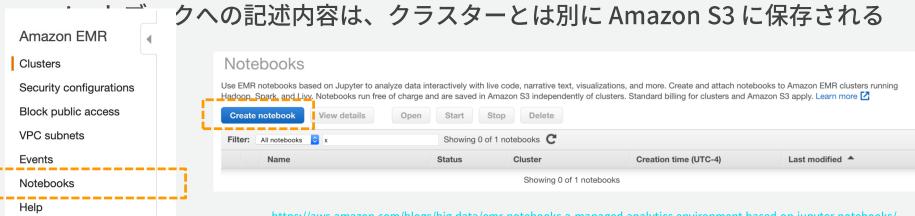
✓ Use IAM roles for EMRFS requests to Amazon S3

When an Amazon S3 request is made through EMRFS, each **Basis for access** is evaluated in order. EMRFS assumes the corresponding **IAM role** for the first match. Specify the cluster **Users** or **Groups**, or **S3 prefixes** as the **Basis for access**. If no **Basis for access** matches the request, EMRFS uses the cluster's EMR role for EC2. Learn more



EMR ノートブック

- Jupyterをベースとしており、データをインタラクティブに分析するためにあ る
- ノートブックを作成し、Hadoop、Spark、および Livy を実行している Amazon EMR クラスターにアタッチする



https://aws.amazon.com/blogs/big-data/emr-notebooks-a-managed-analytics-environment-based-on-jupyter-notebooks/https://aws.amazon.com/blogs/big-data/install-python-libraries-on-a-running-cluster-with-emr-notebooks/



What's new

クラスターの詳細

AWS CLI export Terminate Clone Cluster: My cluster Waiting Cluster ready after last step completed. **Application history** Monitoring Hardware Configurations **Events** Steps **Bootstrap actions** Summary Connections: Enable Web Connection - Spark History Server, Resource Manager ... (View All) Master public DNS: ec2-3-113-248-228.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com SSH Tags: -- View All / Edit Configuration details Summary ID: j-33UGWUVJGUQG7 Release label: emr-5.27.0 Creation date: 2019-10-14 07:01 (UTC+9) Hadoop distribution: Amazon 2.8.5 Elapsed time: 7 hours, 55 minutes Applications: Hive 2.3.5, Spark 2.4.4 Auto-terminate: No northeast-1/elasticmapreduce/ Termination On Change protection: **EMRFS consistent** Disabled view: Custom AMI ID: --Network and hardware Security and access Availability zone: ap-northeast-1d Key name: --Subnet ID: subnet-0ce23027b751c53fc EC2 instance profile: EMR_EC2_DefaultRole Master: Running 1 units EMR role: EMR DefaultRole Core: Running 4 (1 Requested) Visible to all users: All Change **Security groups for** sg-06e0d088240e79417 Task: Running 4 (1 Requested) Master: (ElasticMapReduce-master) Security groups for sq-0ce79503cfce021b4 7

Core & Task: (ElasticMapReduce-slave)



本日のアジェンダ

- Why Amazon EMR
- What is Amazon EMR
- ☐ How to Amazon EMR
- ☐ Amazon EMR and Friends
- □まとめ



Amazon EMR と関連する AWS サービスの使い分け

- Amazon Athena
 - RDBなどS3 以外もデータソースにする必要がある、Athenaの同時実行クエリ数の制限を回避 したい、いずれかに該当するなら、 Presto on Amazon EMR
- AWS Glue
 - ETL 処理に Spot を使いたい、単一のノードのスペックを非常に高くしたい、ETL 処理に Spark 以外のアプリを使いたい、いずれかに該当するなら、 Apache Spark on Amazon **EMR**
- Amazon Kinesis Data Analytics for SQL / for Java App
 - ストリーミングアプリを、より柔軟にカスタマイズしたいなら、Apache Spark on Amazon **EMR**
- **Amazon DynamoDB**



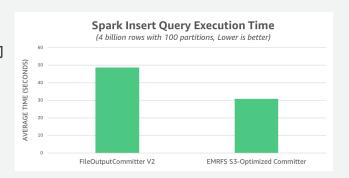
Amazon EMR と関連する AWS サービスの使い分け

- □ つまり、こんな時は Amazon EMR
 - □ Hadoop と各種アプリをより柔軟にカスタマイズしたい
 - □ オンプレの Hadoop クラスターをシンプルに移行したい
 - □ マネージドサービスの制限を回避したい
 - □ できるだけ各種 OSS アプリのより新しいバージョンを使いたい
 - □ アプリケーションのバージョンを固定したい
 - □ 複数種類のアプリケーションを同一クラスター上に稼働させて連携させ る必要がある



Amazon EMR の Apache Spark 性能向上の取り組み(一部抜粋)

- EMRFS S3-optimized Committer
 - Apache Parquet ファイルをEMRFS越しにS3に書く性能を向上
- Dynamic Partition Pruning
 - □ クエリが、あるテーブルに属する特定の Partition から読み 書きする性能を向上
- Flatten Scalar Subqueries
 - □ 特定のテーブルの行に複数の条件を適用する必要があるクエ リの性能を向上
- DISTINCT before INTERSECT
 - □ INTERSECT を計算する前に、各コレクションの重複値を排除し、ホスト間でシャッフルされるデータの量を減らして性能を向上



TPC-DS benchmark



aws

https://aws.amazon.com/blogs/big-data/spark-enhancements-for-elasticity-and-resiliency-on-amazon-emr/

https://aws.amazon.com/blogs/big-data/improve-apache-spark-write-performance-on-apache-parquet-formats-with-the-emrfs-s3-optimized-committer/© 2019, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

本日のアジェンダ

- Why Amazon EMR
- What is Amazon EMR
- ☐ How to Amazon EMR
- ☐ Amazon EMR and Friends
- □まとめ



Amazon EMR

大幅なコスト節減を可能にする、クラウドを利用したマネージドな Hadoop と Spark



高い品質



簡単



低コスト



Why Amazon EMR?











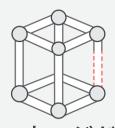




What is Amazon EMR



簡単 わずか数分でクラスターを起動



マネージド監視に費やす労力を節減



低コスト
砂単位の課金



安全 簡単にオプション設定可能





柔軟 自在なカスタムと制御



参考資料

- ☐ Amazon EMR documentation: https://docs.aws.amazon.com/emr/
- □ AWS Bigdata Blog: https://aws.amazon.com/blogs/big-data/category/analytics/amazon-emr/
- Amazon EMR Migration Guide :

https://d1.awsstatic.com/whitepapers/amazon_emr_migration_guide.pdf



AWS の日本語資料の場所「AWS 資料」で検索



https://amzn.to/JPArchive



AWS Well-Architected 個別技術相談会

毎週"W-A個別技術相談会"を実施中

AWSのソリューションアーキテクト(SA)に 対策などを相談することも可能



AWS Well-Architected

申込みはイベント告知サイトから
(https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/)

AWSイベント

で[検索]





ご視聴ありがとうございました

AWS 公式 Webinar https://amzn.to/JPWebinar



過去資料 https://amzn.to/JPArchive

